

1 開催日時：令和3年2月21日(月) 13:30~15:00

2 開催場所：役場 第4・第5会議室

3 出席委員

- (1) 加藤 孝志 教育長(以下「教育長」と表記。)
- (2) 鷹野 綾子 教育長職務代理者(以下「職務代理」と表記。)
- (3) 伊藤 一幸 委員(以下「伊藤委員」と表記。)
- (4) 古藤 祐巳子 委員(以下「古藤委員」と表記。)
- (5) 春日 十三男 委員(以下「春日委員」と表記。)

4 欠席委員：なし

5 その他、会議に出席した者の氏名

- (1) 北原 敦 教育次長(以下「次長」と表記。)
- (2) 伊東 真一 学校教育係長(以下「学校係長」と表記。)
- (3) 大澤 光隆 子育て支援係長(以下「子育て係長」と表記。)
- (4) 本田 留美 生涯学習係長(以下「生涯係長」と表記。)
- (5) 小池 勝典 文化財担当係長(以下「文化財係長」と表記。)

6 教育長あいさつ

みなさんこんにちは。寒い日になりました。そんな中、役場の職員の方が福祉課のワクチン接種の応援に入ってくださっています。丁寧に対応してくださっており、他の課のお手伝いも自分のためと考えながらやっているのだと感じました。その隣の草場でヤギたちをつないで外に出して見ていましたら、飼料系の餌も食べていましたが時々草丈の短い草をほじくり返して食べる姿が見られます。この時期の雪や土から這い出して来る草に対して「したぶれ」という言葉があるそうで切り絵で有名な浦野栄一先生が教えてくれた言葉なのですが、この時期にしかないパワーを持った草でそれを動物たちは知っていて食べようとするという話があって、ヤギたちはちゃんとわかっているのだと思いました。自分たちが子供たちのためになれるのなら自分たちが「したぶれ」の草になればいいのだと思いました。宮田の学校の先生を見ているとこういう姿勢でやってくださっている方ばかりですごくいいと思います。だから宮田のみなさんは保育園と学校を大事にしてくださっているのだと感じました。

3つ目ですが、北京オリンピックが終わりました。いろいろ考えることが多かったオリンピックでした。今度のパラリンピックの方も楽しみにしているのですが、選手の一人で、長野県出身でアルペンスキーに出る方がいます。コーチが私の教え子なのですが、年齢的に最後のパラリンピックになる可能性があるので、応援したい気持ちが出てきています。

最後に、「遅れの挽回ではなく」これは峯村先生という信濃小中学校の初代の校長先生があるときに書かれていたのですが、「コロナ禍の中だからこそ遅れの挽回を子供たちにさせてはいけない。こんなときだからこそ学びの楽しさを子供たちがみんなの中で感じ取れるようなそんな学びづくりを大人たちで支えていきましょう。」とそんな言い方をされていました。遅れを何とかしなくてはということで、駆け足で詰め込んだりしてしまうのですが、そうではなくてこんな時だからこそ余計みんなが学ばっていいなというのをみんなで見分ち合えたらいいなと思います。コロナの関係の情報が今日

も出てまいります。いろいろな含みながら、子供たちのこれからの学びをどうやって支えていくかの話をしていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

7 会議録承認（1月定例会）

教育長：承認よろしいでしょうか。

委員：承認

8 議 題

(1) 議題

報告1号 教育委員会活動報告について 1~2月

教育長：事務局から資料の説明をお願いします。

次長：資料No.1により説明

教育長：何か質問はありますか。

委員：承認

9 その他

(1) その他

教育長：当面の日程について 2月から3月

次長：資料No.2により説明

教育長：何か質問はありますか。それでは次に新型コロナウイルスの感染状況と対策について説明をお願いします。

次長：資料より説明

教育長：何か質問等ありますか。

職務代理：中学校3年生の学生さんが今自宅待機中だと思うのですが、その学生さんのクラスはどういう動きですか。

次長：中学校3年生のクラスについては健康観察を行って通常授業を行っています。

職務代理：その自宅待機中の中学生は濃厚接触者ですか。

次長：今はそういう定義づけが難しくなっています。

伊藤委員：保健所は学級閉鎖をしたクラスをクラスターだと判断しているのですか。

次長：クラスターとして位置づけられる可能性は低いと思います。

教育長：それでは第3次村子供読書推進計画についてお願いします。

生涯係長：第3次村子供読書推進計画について説明

教育長：じっくり見ていただいてご意見いただければと思います。

5歳から11歳のワクチン接種について資料より説明

お気づきの点等ありましたらお願いします。

伊藤委員：誰が接種して誰が接種していないのかというのが分からないようになっているのですか。

教育長：一覧表も作りませんし、予約も個別になっていますのでわからないものになっています。

伊藤委員：それも書いておいた方がいいと思います。お子さんは気にしないと思いますが、保護者の方は気にされると思うのでそこは大事にした方がいいと思います。その資料を見る限りそういう配慮がされているとは思えないです。

春日委員：全員が希望しても対応はできるのですか。

教育長：予約状況を見ながら確保して対応するそうです。接種後も体調の面もあるので欠席とせずに自宅待機とすることが確認されています。ほかの圏域の情報も集めていきたいと思いま

す。今のところこのような体制でスタートするというをご承知おき頂ければと思います。次に教育大綱の進捗状況についてお願いします。

次長：資料より説明

各係長：担当箇所について説明

教育長：お気づきの点等がございましたらお願いいたします。

春日委員：体力の向上のところで指導者の不足、指導時間の減少とありますが、今後の対応がこれで指導者の不足、指導時間の減少が賄えるのでしょうか。そして虐待に関してのところで困難ケースとあるのですが何がそのケースに該当するのか教えていただきたいです。次のいじめに関しては、取り組み状況では迅速な対応ができていますとなっていますが、評価がBというのは何か引っかかりがあるのでしょうか。

学校係長：体力の向上の指導者の不足、指導時間の減少に関してですが、地域型部活への移行を今後検討していく必要があります。教員の負担を減らすような形も考えられる中で令和5年の取り組みとしては、土日の休日部活をまずは地域と協力しながら進めていきたいということで現在こちらの方を課題に挙げています。今後の方向性としてシステム作りが必要となってくるのですが、村の地域づくり協力隊の方から意見をいただく中で各市町村の情報を得ながら生涯活動、生涯部活、生涯スポーツという形で生涯学習係と連携しながら指導者の不足の解消と地域との連携を進めていきます。また指導時間の減少については教員の指導時間に関しての考え方になります。

子育係長：続いて児童虐待の困難ケースについてですが、要対協で進行管理しているのが今40くらいあります。その中に困難ケースは程度にもよりますが、児童自立支援施設というのが書いてあると思いますが、ここに入所措置されているお子さんというのはあまりいません。そういう困難なケースが何件も同時に訪れるということに関係機関と連携しながらフォーカス的に取り組んでいかないとやっていけない状態になってきているということが課題として挙げられると考えています。

春日委員：全国的に見るといろんな課を使って対応することができずに担当レベルでの抱え込みになるケースが多いと思います。村なのでそこまで多くはないと思いますが、連携をとって対応ができる体制作りをする必要があると思います。

伊藤委員：今の点についてですが、把握されている人はそれほど難しくないと思うのですが、保護者が新しく来たケースについてきちんと対応できる体制が必要だと思います。自治体間を動いたときに問題となることが多いので、それを問題点として挙げた方がいいと思います。

子育係長：ありがとうございます。追記したいと思います。

学校係長：いじめに関してですが、本来は評価Aを常にキープできる形で対応を考えていかなければいけないと思っております。今後の課題と現状の取組に関してですが、学校要覧等の相談窓口の見える化の表示や登校支援員を小中学校に配置する中で児童生徒の相談等に乗っていただく等は現状できているところですが、今後ICTを活用する中でタブレットを使ったいじめ等がある中で今後SNS上での生徒のやり取りなどが懸念されますので、引き続き課題という形で考えていくとともにそれに直接関わる情報推進委員会で持ち帰りの関係もありますが、モラルの環境、ハードのセキュリティ環境を整える中で今後環境づくりに取り組んでいければと考えています。

春日委員：そのことを書いておいた方がいいと思います。

学校係長：ありがとうございます。追記したいと思います。

教育長：その他になにかありましたらお願いします。

古藤委員：今のいじめに関してですが、潜在的ないじめ・不登校につながらない環境づくりとあるの

ですが、不登校=いじめではないので書き方を少し変えればと思います。いじめを受けて不登校になったわけではないお子さんが結構いらっしゃるの、学校現場では深刻なところもあるので別項目であってもいいと思います。

学校係長：ありがとうございます。改めて別の括りで記載したいと思います。

伊藤委員：西駒登山についてですが、西駒登山がコロナの影響で日帰りになっているというのはそれなりに問題です。というのは、宮田中学校の教頭先生が登山全般の調整をしているというのもあるので、今年はこの状況で仕方がなかったと思いますが、もう少し幅を持たせた対策で泊まれる人は泊まれるようなことも考えた方がいいと思います。もう一つは、今後の対策で宮田高原に中学1年生がという話に私は関わっているのですが、恒常化しそうななら書いてもいいと思いますが、大丈夫でしょうか。

学校係長：課題で短縮型の工程で実施する件ですが、現状の方向性では日帰りが安心安全に行える最善策と考えています。しかし、コロナが落ち着けば宿泊も元に戻す形、また新たな形で取り組みができるよう進めていきたいと思っています。また、中学校1年生による宮田高原の活用に関してですが、中学校としても今まで村外で対応していたものを身近に素晴らしい自然があるということで、そこは今後引き続きこのような形で考えていけるような協議も行っています。

伊藤委員：もう一つあるのですが、村のホームページの中に PDF ファイルがそのまま中に入っている。古くなったら PDF にすればいいと思うのですが、出したばかりの時は中が見える形で出した方がいいと思います。例えば、コミュニティスクールの関係のものが PDF で出ていますが、全部 PDF で見栄えが悪いです。二度手間になりますが、新しいものは見える形にするなど工夫が必要だと思います。

子育係長：全体的にページに工夫ができるように調整したいと思います。

職務代理：生涯学習の施設利用の検討を進めていきたいとあるのですが、何年か前に改定したかと思うのですが、改訂しなくてはいけなくなってきましたか。

生涯係長：いけないということではありません。前回改定したのが平成 29 年です。すでに 5 年経過しているので、その間に消費税の増税もありましたのでそろそろ住民の声を聞きながら見直していく必要があると思い載せさせていただきました。

職務代理：家庭の日についてですが、去年、中学校3年生に家庭の日を設けていて、文書にしたりお便りを出したりして始めたのだと思うのですが、毎月家庭の日というのも学校からきずなネットで送られてくるのですが、家庭で何かしたかという調査等はしたのでしょうか。

学校係長：今後年度末に向けて確認を行っていきたいと考えています。

教育長：ご意見ありがとうございました。お気づきの点がございましたらいつでも結構ですのご連絡いただければと思います。まん延防止等重点措置の延長について生涯学習の関係で一覧にいただいたもの、保険厚生課の方から学校における新型コロナウイルス感染症の対応についての通知ですが、目を通していただければと思います。以上を持ちまして2月の定例会を終了します。

・次回定例会：3月25日(金) 村民会館 午後1時30分から